

SUMIRE YOSHIHARA PERCUSSION RECITAL 2021

吉原すみれ

パーカッションリサイタル 2021



【Program】(演奏順未定)

 糺場富美子 (1952-) : フラグメンツ IV~メタル・メタル~ (2020) [世界初演]
Tomiko Kohjiba (1952-) : Fragments IV metal-metal (2020) [World Premiere]

 小出稚子 (1982-) : ○△□の音楽 (2020) [世界初演]
Noriko Koide (1982-) : ○△□ (2020) [World Premiere]

 田中 賢 (1946-) : こころの庭で... (2020) [世界初演]
Masaru Tanaka (1946-) : im Garten, in dem Herzen ... (2020) [World Premiere] 共演：菅原 淳 (パーカッション)

～出版記念～
 山口恭範 (1941-) : コナンドラム (1997)
Yasunori Yamaguchi (1941-) : Conundrum (1997)

 湯浅穰二 (1929-) : マリンバのための音楽 (2006)
Joji Yuasa (1929-) : Music for Marimba (2006)

2021年 11月 1日 [月] 開演 19:00(開場 18:15)
全席自由 一般 4,000円 / 学生 2,000円

東京文化会館小ホール
(上野駅公園口改札正面)

【チケット取扱】

東京コンサーツ

・オンラインチケットサービス <https://www.tokyo-concerts.co.jp/>

・電話予約(カンフェティチケットセンター) TEL.0120-240-540(受付時間 平日10:00~18:00オペレーター対応)

東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/>

【お問い合わせ】

東京コンサーツ TEL.03-3200-9755 (11:00~16:00/平日のみ)

主催：吉原すみれ マネジメント：東京コンサーツ

吉原 すみれ パーカッション Sumire Yoshihara (Percussion)

東京生まれ。幼少の頃より、工藤昭二のマリンバのレッスンを受ける。高校入学時より、打楽器を小宅勇輔に師事。東京藝術大学に入学し、打楽器一般を有賀誠門、マリンバを高橋美智子に師事。1972年東京藝術大学大学院在学中に、ジュネーブ国際コンクール打楽器部門で優勝。同時に各部門のグランプリであるプリ・アメリカン賞も受ける。以後、ヨーロッパ、日本を中心にソロ活動を続ける。1977年ミュンヘン国際コンクールで1位なしの2位。ソロ・レコードがRCAより全世界に発売される。1979年より85年までカメラータ・レーベルにて5枚のソロ・アルバム（吉原すみれ・打楽器の世界1-5）を制作。1980年サントリー音楽賞受賞。アルバム「吉原すみれ・打楽器の世界1」において芸術祭優秀賞受賞。アンサンブル・ヴァン・ドリアン、トライアングル・ミュージック・ツアーなどアンサンブル活動も行い、アンサンブル・ヴァン・ドリアン団員として1983年中島健蔵賞受賞。1986年立花隆の制作録音によるCD「とぎれた間」を発表。1986-93年CBSソニーで4枚のソロCDと1枚のデュオCD（笛の藤舎峰との「デュエル」）を制作。1991-97年ミュンヘン国際コンクール、1992年ジュネーブ国際コンクール、審査員。1993年ニューヨークにてミュージック・フロム・ジャパン公演。97年「打楽器通信」、2002年「打楽器通信2」（フォンテック）CDリリース。2002年第20回中島健蔵音楽賞優秀賞を受賞。2004年第13回朝日現代音楽賞受賞。アンサンブルタケミツ、メンバー。武蔵野音楽大学教授。相愛大学客員教授。



菅原 淳 打楽器 Atsushi Sugahara (Percussion)

大阪生まれ。東京藝術大学卒業。フランス政府給費留学生として、パリ・コンセルバトワールに留学。

74年、ラ・ロッシュェル国際打楽器コンクール第1位。グループ「3マリンバ」、アンサンブル「ヴァン・ドリアン」を結成、作曲家に曲を委嘱し、数多くの日本初演をする。80年、パリで行われた国際打楽器コンクールの審査員を務める。83年、中島健蔵音楽賞を受賞。平成7年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。99年、朝日現代音楽賞を受賞。CD「菅原淳/木と皮の鼓動」「花と星」をリリース。打楽器アンサンブル「パーカッション・ミュージアム」と「パーカッション・ギャラリー」の主宰。38年間、読売日本交響楽団で主に首席ティンパニ奏者を務めた。現在、東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授。



糺場富美子 作曲 Tomiko Kohjiba (Composition)

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。米国サンタフェ室内楽音楽祭にレジデンス・コンポーザーとして招待される等、国内外の個人および団体から室内楽、合唱曲、管弦楽曲等の委嘱を受け、作品は国内だけでなくヨーロッパ、米国等で演奏されている。'18年、現代日本の作曲家シリーズとしてfontecからオーケストラ作品集がリリースされた。別宮賞、芥川作曲賞、中国文化賞受賞。楽譜は全音楽譜出版、カワイ出版、音楽之友社等から出版されている。現在、東京音楽大学教授。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会理事。日本ソルフェージュ研究協議会副会長、他。



小出 稚子 作曲 Noriko Koide (Composition)

1982年生まれ。東京音楽大学大学院修了後、ロームミュージックファンデーション、文化庁新進芸術家海外研修制度、野村財団、インドネシア政府奨学金等の助成を受け、アムステルダム音楽院、デン・ハーグ王立音楽院、インドネシア国立芸術大学スラカルタ校にて作曲とジャワ・ガムランを学ぶ。芥川作曲賞・出光音楽賞・アリオン賞などを受賞。近年はフラメンコとガムランの時間の概念をベースに、タップダンスを演奏に組み込んだ打楽器四重奏曲【Jamtic Jamtac】、東南アジアの雨季のじっとりとした湿度と、その環境に静かに埋没してゆく感覚を描いたオーケストラ作品【南の雨に耽る】、香川のソウルフード・讃岐うどんと日本三大たぬきの1匹・太三郎をテーマにしたピアノ独奏曲【うんぼこどんぼこ】、七福神の神様にそれぞれのテーマソングを作る【組曲・宝船】などを発表している。



田中 賢 作曲 Masaru Tanaka (Composition)

新潟県長岡市生まれ。東京音楽大学附属高校を経て同大学作曲科を卒業。作曲を南弘明氏、保科洋氏に、指揮を秋山和慶氏に師事。尹伊桑氏の招待によりベルリン芸術大学作曲科に留学、作曲を尹伊桑氏に師事。ガウデアムス国際作曲コンクール第3位、ヒツァーカー作曲コンクール第1位、シュトゥットガルト作曲コンクール第1位受賞。作品は、オーケストラ、室内楽、吹奏楽、合唱、映像音楽など多岐にわたり、「ワルシャワの秋」「ベルリン音楽週間」「パリの秋」等の国際音楽祭、「科学万博つくば」「日本国際博覧会（愛・地球博）」等、内外で演奏され、好評を得ている。また、長野冬季オリンピック、第6回ワールドゲームズでの委嘱をはじめ、全国植樹祭、国民体育大会など、式典音楽の作曲・編曲、音楽アドバイザーも務める。元札幌大谷大学芸術学部作曲科教授。



山口 恭範 作曲/パーカッション Yasunori Yamaguchi (Composition / Percussion)

東京藝術大学を卒業後、欧米で研鑽を積み、1966年ソロリサイタルを開催し注目される。1972年より10年間、新日本フィルに在籍。また、高橋アキ、小泉浩らと演奏グループ「アーク」を結成。1983年武満徹企画の「Music Today」でソロリサイタル。同年、中島健蔵音楽賞を受賞。1993年ベルリン芸術週間で石井眞木作曲、指揮による打楽器コンチェルト「砕動鬼」を初演。2004年朝日現代音楽賞受賞。1992年ソロCD「イリュージョン」を発表。さらに、打楽器奏者としての豊富な知識と経験を生かし、多くの打楽器のための作品を作曲、発表。この度、1997年に作曲した「コナンドラム」（ソロ版、デュオ版）が出版されることとなり、その記念として本公演にて、ソロ版が再演される。名古屋音楽大学客員教授。アンサンブルタケミツ、メンバー。



湯浅 譲二 作曲 Joji Yuasa (Composition)

福島県郡山市生まれ。少年期より音楽に興味をおぼえ独学で作曲を始める。慶応大学教養学部医学部進学コースに入学するが、在学中より秋山邦晴、武満徹らと親交を結び、51年「実験工房」に参加、作曲に専念する。以来、オーケストラ、室内楽、合唱、劇場用音楽、インターメディア、電子音楽、コンピュータ音楽など、幅広い作曲活動を行っており、国内はもとより、世界の主要オーケストラ、フェスティバルなどから多数の委嘱を受けている。81年からカリフォルニア大学サン・ディエゴ校教授（現在名誉教授）を務め、日本大学芸術学部、東京音楽大学、桐朋学園大学等でも後進の指導にあたる。1999～2011年の「サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ」の監修を行う。これまでに尾高賞4回、飛騨古川音楽大賞、京都音楽大賞、サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、日本芸術院賞・恩賜賞などを受賞している。2010年国際現代音楽協会（ISCM）名誉会員、2014年文化功労者に選ばれた。